



日本機械学会

動力エネルギーシステム部門

Power and Energy System Division / The Japan Society of Mechanical Engineers

原子力の安全規制の最適化に関する研究会シンポジウム

～～ 1986年チェルノブイリ原子力発電所（旧ソ連）

事故から学ぶ3. 11. 後処理戦略 ～～

会 期 2012年1月30日 月曜日 13:00～19:30
 シンポジウム 13:30～18:00 (登録制、無料、露日同時通訳あり)
 懇親会 18:00～19:15 (有料:1000円/人 事前登録し、当日支払い)
 会 場 東京大学本郷キャンパス浅野地区 武田先端知ビル 5F 武田ホール
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html (参照)
 アクセスマップ
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/map01_02_j.html (参照)

シンポジウム次第

開場 13:00

1. 開会

& IAEA と日本の放射線基準 司会 JNES 水町 13:30～13:50

2. 福島事故における日本の状況 東大 岡本 教授 13:50～14:10

3. チェルノブイリ原子力発電所事故の総括と30K退避の設定 14:10～15:10

ウクライナ科学アカデミー原子力発電所安全問題研究所所長

Dr. Oleksandr KLIUCHNYKOV

休憩 15:10 ～ 15:20

4. チェルノブイリ原子力発電所事故後の対応と今後 15:20～16:10

ウクライナ科学アカデミー原子力発電所安全問題研究所

核・放射線安全部長 Mr. Viktor KRASNOV

5. チェルノブイリ原子力発電所事故後のプラント外除染(農地) 16:10～17:00

ウクライナ農業放射線学研究所所長 Dr. Valerii KASHPAROV

6. パネル討論 発表者全員+奈良林教授(北大) 17:00～17:55

7. まとめ、閉会 司会 JNES 水町 17:55～18:00

問い合わせ等は下記のいずれかに、参加登録はシンポジウムのみ、懇親会のみ、
両方と連絡先、所属(又は元所属)、氏名をメールでお願いします。

折り返し受信者から受信確認を配信します。

JSME 川崎さおり kawasaki@jsme.or.jp

JNES 熊田忠真 kumata-tadamasa@jnes.go.jp

JANUS 藤井有蔵 fujii-y@janus.co.jp

*ウクライナの講演者の招聘には、原子力安全協会のご協力を頂きました。